

宇大生によるSDGs映画上映会『プラスチックの海』

— 私たちが、加害者でも被害者でも居続けないために —

国際学部教授 高橋若菜

使捨てプラスチックの削減とリフィルうつのみや

海洋プラスチック問題は、NPOの方々や学生たちの関心が高い分野の一つです。そこでUU3Sプロジェクトでは、2021年度は「プラスチックの海」、2022年度は「マイプラスチックストーリー」、2023年度は「プラスチックの海」短縮版と、これまでに3度上映会を開催してきました。映画会では、便利なプラスチックが産んだ代償を、さまざまなデータを使って解説し、私たちができることについても考案し、リサイクルだけでなく使捨てプラスチックそのものを削減を進める方法についても議論を深めました。

これをきっかけに2022年度よりはじまったのが、リフィルうつのみやという、パートナーシップ型の取組です。街中に給水スポットをふやし、マイボトル利用促進をはかり、循環型社会の促進、CO2の大幅削減することは、市民のお財布にも優しいwin-winな取組と位置付けられます。そこで、もともと全国規模で行われているリフィルジャパンの手解きをうけつつ、大学に加え、NPO、市民団体が宇

都宮市水道局や宇都宮市環境政策課ともタグを生んで、給水スポットやマイ容器取扱店を広げ、情報を広めることを目指してきました。

2023年度は、学内での映画上映会+WSに加えて、地域ラジオ出演、宇都宮市等のイベントへの出展、各所での発表等を含め、述べ620人以上の目に、リフィルうつのみやの取組を紹介する機会が得られました。さらに2023年11月には、環境省のオンラインワークショップに参加しリフィルの活動や若者の意見を伝える機会にも恵まれました。

リフィルうつのみやは、NPOの方々の献身的な取組もあり、リ給水スポット・マイ容器取扱店は2023年末で30を超えています。また水源や給水スポットへのリフィルツアーなどを通じて、地域のつながりや共感の輪も広がりつつあります。

海洋プラスチック問題への関心とリフィルうつのみやの立ち上げ

①ペットボトルなどの使い捨て容器は自然界で何百年も分解されずに残る！



その被害は生態系、途上国だけでなく、いずれ自分たちにも！

②生産、輸送、冷蔵、リサイクルの段階で多くのCO2を排出！



2021,2022年度の海洋プラスチックに関する映画会・WSがきっかけに。

マイボトルに無料で水をくめる給水スポットを日本全国に広げ、アプリで見える化する全国ネットワーク「リフィルジャパン」に賛同。

2022年10月、リフィルうつのみやを立ち上げる。

<昨年の登録数>

給水スポット: 公共1ヶ所

店舗3ヶ所

マイ容器: 1ヶ所

協力店舗(交渉中): 2ヶ所

リフィルうつのみや リフィルスポットの開拓

どうやってリフィル行動を広めるの？

行政、市民、市民団体、大学、学生、企業などの幅広いパートナーシップを通じてリフィルスポットを増やし、見える化し、伝える！

学内で・・・

昨年、宇都宮大学長に学内の給水スポット設置をお願いしました！

今年4月、学長が給水スポットを設置してくれました！



宇都宮市内で・・・

NPO（うつのみや環境行動フォーラム）の方々の尽力もあり、スポットは大幅に増加！

メンバーも体験



登録件数も増加！

5件→28件

（昨年3月）（2023年10月5日時点）



リフィルの普及促進 SDGs映画上映会・WS実施

WSでは・・・

使い捨てプラスチックの実情・データを可視化“加害者にも被害者にもならない”ための提案も



「プラスチックの海」参加チケットはマイボトル持参！

リフィルも提案：

マイボトル持参だと、水の自販機購入と比べ97%のCO₂を削減可！宇都宮市の水は受賞するほど美味しい！



大学内の給水スポットで体験

10歳以下のお子様から70代以上の方まで約100名が参加！



自分たちができることを議論！

リフィルの普及促進 SDGs映画上映会・WSの効果

自ら行動するだけでなく、リフィルを広めようとする人も増えました！

Q. 使い捨てプラスチックを減らすために何を行っていきたいですか？

周りの人に呼びかける

行政に働きかける

事前 43.3%

事前 34.6%

事後 56.0%

事後 63.7%

+12.7%

+29.1%

Q. 外出時にマイボトルを持って行きますか？

事前

65.1%

事後

94.5%

+29.4%

宇大生による

SDGs 映画上映会

WINNER BEST FEATURE FILM (Pittsburgh International Film Festival) 2017

WINNER STAFF WINNER (Tribeca International Film Festival) 2017

WINNER BEST FEATURE (Abu Dhabi Environmental Film Festival) 2017

WINNER BEST OF FESTIVAL (Blue Ocean Film Festival) 2017

WINNER BEST DOCUMENTARY (Sofia International Film Festival) 2017

WINNER OCEAN IMPACT AWARD (Netherlands International Film Festival) 2017

海がプラスチックで溢れている。

私たちに何ができるのだろうか。

A PLASTIC OCEAN

WE NEED A WAVE OF CHANGE.

プラスチックの海

PLASTIC OCEANS LIMITED
presents in association with
ADESIUM FOUNDATION HEMERA FOUNDATION
A PLASTIC OCEAN
Executive Producers: Sonja Norman Daniel Auerbach
Produced by: Adam Leipzig Jo Fluxton
Directed by: Craig Leeson

A PLASTIC OCEAN
PRODUCTION

監督: アレクサンダー・トーン
出演: アレクサンダー・トーン, デイビッド・アッランズボロー, シルビア・アール, バラク・オバマ他
配給: ユナイテッド・ピープル 原簿: A PLASTIC OCEAN 1009 / 2016年 / イギリス・香港

UNITED PEOPLE
Educational distribution partner

日時

7月22日(土)

10:00-12:30

『プラスチックの海』

私たちが、加害者でも
被害者でも居続けないために

主催: 宇都宮大学国際学部 環境と国際協力研究室 UU3Sプロジェクト

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター

協力: NPO法人うつのみや環境行動フォーラム

後援: NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク、宇都宮市SDGs人づくりプラットフォーム

備考: UU3Sプロジェクトは、宇都宮市みやの環境創造提案・実践事業費、栃木県大学地域連携活動支援事業の支援を受けています。



『プラスチックの海』

先着
100名

参加費
マイボトル
持参!

口の広い
容器なら
なんでも
OK!!

※問い合わせ先
〒321-8505

宇都宮市峰町350
宇都宮大学国際学部
高橋若菜(環境と国際協力)
研究室/ UU3sプロジェクト
uu_movieteam@gmail.com
Tel:028-649-5196
多文化公共圏センター
(平日9:00~16:00)

「地球の生物はみんな環境を破壊しないよう生きています。
その自覚がないのは人間だけ。」

プラスチックでお腹がふくれた海鳥
消えることなく海底に溜まるペットボトル
澄んだ海を濁らせるマイクロプラスチック

これらは全て、嘘のように本当の、
人間が海にもたらした悲劇の一部

これ以上、悲劇を深刻化させない責任は私たちにあります。

リフィルをはじめ、できることがある---

プラスチックとの向き合い方を、今、この瞬間から変えてみませんか。

日時：7月22日(土) 10:00~12:30

会場：宇都宮大学 峰キャンパス 大学会館

はじめに

映画鑑賞(短縮版:22分)

映画解説・私たちにできること(学生発表)

グループディスカッション+リフィル体験会

全体ディスカッション・おわりに

学生発表では「リフィルうつのみや」についても紹介
します! 「リフィルうつのみや」は、学生、NPO、
行政、市民社会協働で、ペットボトルなどの使い捨て
容器を減らし、いつでもどこでも喉を潤せる
「給水スポット」を広げようと活動しています。



リフィル
うつのみやHP

※終了後、希望者は座談会(30分)にもご参加いただけます。

<申し込み方法> 〆切:7月15日(土)

<https://forms.gle/faUcceUg6J7fse4p8>
又は右記QRコードから事前に申し込みを
行い、事前アンケートにご回答ください。

